



ウォルナット

表示の色は実際の色と多少異なることがあります。

オイルステインの水性タイプ

水性 ステイン

用途 木製家具、木工作品などの屋内の未塗装木部

(一社)日本塗料工業会登録

登録番号 A02130

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

問合せ先 <http://www.toryo.or.jp>

建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に新材組に塗装できます。



うすめずに塗って下さい。



無鉛塗料
鉛クロム化合物は使用していません。

300ml

標準塗り面積(2回塗り)

2.7~3.7㎡
タタミ1.6~2.2枚分

乾燥時間

夏期/30分~60分
冬期/1~2時間

上塗り時間の目安

夏期/2時間以上
冬期/4時間以上

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

*写真はイメージです。



商品名 水性ステイン 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、防カビ剤、水

特長

- 特殊顔料を使用していますので未塗装部への浸透性に優れ、木目を生かした着色仕上げが出来ます。

* そのまま仕上げる事も出来ますが保護の目的で用途に応じたニス(クリアヤ)を上塗りして下さい。

用途

- 木製家具・木工作品などの屋内の未塗装木部用。

* 床の着色に使用する場合は、必ず床用のニスを上塗りして下さい。

塗装方法

- ① すでにある塗膜は、研磨するなどして完全に取り除きます。塗る面の汚れやワックスを取り、油分はラッカーうすめ液で拭いてよく落とします。(充分に乾燥させてから塗装して下さい)
- ② ヤニの多い箇所も、同様にあらかじめラッカーうすめ液でヤニを拭き取ります。
- ③ 毛羽が立つような木目の粗い箇所にあらかじめサンドペーパー(#240くらい)で研磨しておきます。
- ④ 容器ごとよく振って中身を混ぜて均一にします。
- ⑤ ニス用ハケで木目に沿ってうすく塗り広げます。
- ⑥ 1回目の塗装で木の表面が毛羽だつ場合は、塗料が乾いてからサンドペーパー(#400~600)で研磨しておきます。
- ⑦ 削りくず等を除去してから、木目に沿って塗り重ねます。
- ⑧ さらに色を濃く仕上げたいときは塗り重ねして下さい。
- ⑨ マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。

* 表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法

使用した用具は塗料が乾かないうちに、水で湯で洗って下さい。

危険



- 遺伝性疾患のおそれ
- 臓器の障害
- 水生生物に有害

株式会社 ASAHI

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
<http://www.asahipen.jp>



4 970925 426451

お客様相談室

☎06-6934-0300

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。

- ② 食器など、口や食品に直接触れるものには塗らないで下さい。
- ③ ピアノ、美術工芸品、高級家具(桐の家具など)には塗らないで下さい。
- ④ 油加工(ロウ仕上げやワックス)、UV塗装、セラミック塗装、化粧合板などの密着の悪い素材、湿っている素材、ひどく汚れている素材などには塗らないで下さい。
- ⑤ 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ⑥ 目に入った時、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。
- ⑦ 塗装中乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- ⑧ 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑨ 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- ⑩ 吸い込みのある部分と、吸い込みのない部分では着色の程度が大きく異なります。また、乾燥後の色は下地の色の影響を受けます。
- ⑪ 一度に厚く塗ると色が濃くなりすぎる場合がありますので注意して下さい。
- ⑫ 塗装はニス用の化繊ハケが適しています。獣毛が混ざったハケを使用するとハケが固まる場合があります。また、ローラー、コテバケでの塗装は泡立ちますので、避けて下さい。
- ⑬ 古い塗膜が残っているとき、古い塗膜は充分に取り除いて下さい。
- ⑭ ヤニのある箇所は、ラッカーうすめ液でヤニを充分に拭き取って下さい。また、ヤニやアークの多い下地に塗装した場合、乾燥が著しく遅くなることや乾かないことがあります。
- ⑮ 塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより異なります。
- ⑯ ニスを上塗りするときは、2時間(冬期は4時間)以上乾かしてから上塗りして下さい。
- ⑰ 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
- ⑱ やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固くしてから、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑲ 容器を落下させると、ガラスビンが割れることがありますので取扱いに注意して下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食しないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの温度が高くなるところには置かないで下さい。
- ③ 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

日本製

01-1607

キャップ: プラスチック(PP)

中ぶた: プラスチック(PE)

容器: ガラス